

娘の眼差し



NPO青空保育たけの子

八衣は、年中の夏からたけの子に通い始めました。東京から福島に移住した私達家族は、全く違う新たな環境の中で暮らしを始めました。

元々は縁もゆかりもない福島に移住しようと思ったのは、八衣と理人が育つ環境を選択したいと考えたことがきっかけでした。

自分達のやりたいことを中心に暮らす環境を整えていた私達夫婦に八衣が産まれ、暮らしの中心は娘に移りました。そして理人が生まれて、中心は赤ちゃんである理人に。

変化の度に私達の暮らしに必要なもの、足りないものが段々と見えてきて、家族みんなにとって良い環境を選ぼうと考えました。

体験入園して、八衣が自分で行きたい!と思ったたけの子。



そんなに沢山の環境を見てきた訳ではないけれど、自分が生きていく場所を自分で選んで決めて欲しいと思いました。

ささやかなことかもしれませんが、「選ぶ」ことは、とても重要な意志表示の手段です。

大人も子どもも、選はない、選べない、選はせない事が当たり前になっている状況が多いと思います。

だからこそ軽やかに選んで行動している娘からは、彼女自身の意志とその成長を感じます。

”選ぶ”という倫理的な行動は自然の中でこそ鍛えられると思います。

自然環境の変化に忠じて、遊びを選ぶことで、新た



遊びを大人の事情で止めなければ、遊びは展開し、その子ならではの口ジックやストーリーが生まれます。それがその子の個性につながる気になっています。

とてもおしゃべりな八衣は、たけの子で過ごす日々の中で、彼女が考えた事、気付いた事をたくさんお話ししてくれます。

そして、私は全く違う価値観で、世界を見つめていることに気付かせてくれます。

大和田栄一郎

湖奈美